

立竹木調査積算要領

区分	事項	内 容
I 調査	適用範囲	この要領は、立竹木の調査等の一般的事項を示すものである。
	調査方法 (1) 一般的調査事項 ① 立竹木の所在 ② 立竹木の所有者 ③ 土地所有者 ④ 建物所有者 (2) 種類別調査事項	立竹木の調査は所有者ごとに行うものとする。 調査事項として、次の事項を調査し、立竹木調査表及び補償金額算定表（様式第61号の1）に記入するものとする。 県、郡市、区町村、大字、字、地番、地目 個人の場合 住所及び氏名又は名称 法人の場合 住所、法人を代表する者の住所及び氏名 前記②と同様 前記②と同様 別記のとおりとする。 なお、別記以外のものについては、算定時に支障とならないように実態を十分調査する。
	(3) 立木の測定方法（庭木類等）	庭木類等補償算定要領（平成17年3月11日東北用対連理事会決定）3. 算定基準③単価表適用上の留意事項(1)庭木類等の測定方法による。
	(4) 立木の測定方法（庭木類等を除く。）	胸高直径の測定 測定位置は地際（接地点）より高さ120cmとする。 1 立木の胸高直径の測定は、輪尺又は直径巻尺により行う。輪尺を用いる場合は、山側一方差し（平地林においては、任意方向一方差し。）とする。ただし、胸高直径の断面が不整形で最小径と最大径の差が特に著しいと認められるものについては、山側より直角二方向（平地林においては任意直角二方向差し。）を測定し、それぞれ括約して求める。 2 測定位置に枝節又はこぶ等があり、異形をなす立木については、測定値の上下におけるそれぞれの直径を測定して平均する。 3 胸高直径以下で分岐し、幹枝の区分の困難な分岐木の胸高直径は、各樹幹をそれぞれ独立の立木とみなして測定する。

区 分	事 項	内 容
Ⅱ 算 定		<p>根回りの測定 立木の根回りの測定は、巻尺により地際を測定する。</p>
		<p>樹高の測定 樹高は、地際（傾斜地においては山側地際）より、梢頭（樹冠の最端）までの垂直を測定する。 この場合、徒長枝（樹冠線の外に飛び出した枝）は含まない。</p>
	(5) 管理状況等の調査（用材林、薪炭林）	<p>用材林補償算定要領（平成20年3月12日東北用対連理事会決定） 4. 算定基準(7)適正な管理が行われていない立木の取得補償①算定方法及び補正の適用について注意書きの状況に該当するか否かを調査する。 植栽本数及び林齢の調査は、4. 算定基準(7)適正な管理が行われていない立木の取得補償②補正にあたっての調査算定方法による。</p>
	(1) 算定基準等 (2) 算定資料の確認 (3) 移転料の算定	<p>受注者は、算定業務に当たっては、発注者が貸与した資料及び図面等並びにその他監督職員が指示する資料に基づき、これらを十分理解のうえ行うものとする。 数量×単価＝金額 なお、監督職員が指示した以外の労務単価、資材単価及び算定基準等を使用又は作成する必要がある場合は、あらかじめ、監督職員に説明を行い承諾を得るものとする。 受注者は、算定業務に当たっては、あらかじめ、立竹木調査表及び補償金額算定表（様式第61号の1）、管理程度補正単価計算表（様式第61号の2）及び関係図面等、算定業務に必要な資料の有無等の確認を行うものとする。 受注者は、立竹木移転料の算定に当たっては、各所有者ごとに監督職員の指示に基づき、立竹木調査表及び補償金額算定表により行うものとする。</p>

別記

区 分		単 位	内 容
庭木類等	高木 効用樹 風致木	本	樹種、幹周、樹高、管理状況、移植の適否及び本数を調査する。
	株物	株	樹種、樹高、管理状況、移植の適否及び株数を調査する。
	玉物	株	樹種、葉張、管理状況、移植の適否及び株数を調査する。
	生垣	本(m)	樹種、樹高、管理状況、移植の適否及び本数（延長）を調査する。
	特殊樹	本(株)	樹種、幹周、幹高、樹高、高さ、葉長点高、管理状況、移植の適否及び本数（株数）を調査する。
	地被類 芝類 ソル性類	m ²	種類及び植生面積を調査する。
用材木	用材木	本	樹種、胸高直径、樹高、樹齡、管理状況及び本数を調査する。ただし、空洞、虫害等で用材にならないものは薪炭木とする。
	苗木	本(m ²)	定植のものについては、樹種、樹齡及び根元回りを調査する。 苗床のものについては、樹種、苗齡、根元回り及びm ² 当たりの植栽本数を調査する。 苗圃のものについては、樹種、苗齡、根元回り及び植栽距離を調査する。
薪炭木	薪炭木	本	樹種、胸高直径、樹高、樹齡、管理状況及び植栽面積を調査する。 胸高直径3cm未満のものは粗朶として取り扱い、数量(0.9m縄づり束)を調査する。
収穫樹	園地	本	樹種、品種、根元回り、樹齡、樹高、収穫量及び本数を調査する。
	散在	本	樹種、品種、根元回り、樹齡、樹高、収穫量及び本数を調査する。

区 分		単 位	内 容
竹	竹	m ² (本)	品種、樹齡、胸高直径、葉尺、平均m ² 当たりの植生本数、疎密の度合、管理状況及び面積を調査する。
その他の 立 木	その他の 立 木	本	樹種、胸高直径、樹高及び本数を調査する。